



下仁田町街なか活性化事業について

～つどうつながるつくりだす街なか 世代を超えて一歩踏み出すあなたを応援するまちへ～

下仁田町 企画課

下仁田町では持続可能なまちづくりに向けて、町の中心地域の活性化により商業振興や地域の活性化へつなげ、ひいては全町民へ経済的・社会福祉的な波及を図るために、「下仁田町街なか活性化事業基本計画(以下、基本計画)」を策定しました。現在は、基本計画の具現化に向けて事業の検討を進めています。



基本計画の完成受け渡しを行う原町長(左)と熊倉委員長

■ 町の紹介と現状

下仁田町は、群馬県南西部に位置する人口6,363人(2023年10月1日現在)の町です。総面積の約8割が山林と原野であり、大部分が山腹の複雑な傾斜地ですが、日本三大奇勝や上毛三山の1つに数えられる「妙義山」、世界文化遺産「荒船風穴」、日本で最初の洋式牧場の「神津牧場」など、特徴的な地形やそれに関わる観光スポットを有しています。上信越自動車道の下仁田インターチェンジや、高崎駅から発着する上信電鉄の下仁田駅もあり、県内外からのアクセスも良い町です。なにより「下仁田ネギ」は抜群の知名度があり、ネギ(下仁田ネギを含む)は「全国に自慢したい群馬の野菜」の第1位となっています(※)。

しかし、少子高齢化や人口流出により平成19年度に人口は1万人を下回り、平成16年度に中学校が、平成24年度に小学校が統合して各1校となりました。町の中心地域でも空き家、空き店舗などが目立つようになり、養蚕やこんにゃく相場などで賑わったかつての姿は遠くなってしまいました。

これらの課題を踏まえた上で、持続可能なまちづくりに向けた町の中心地域の活性化を図るために、基本計画の策定に令和4年度から着手しました。

■ 幅広い意見を計画に取り入れるための工夫

基本計画策定の協議に入る前に、広くたくさんの方の意見を集めるため、20歳以上の町民から2千人を無作為に抽出し、「街なかの印象、課題、問題点」や「活性化に必要な機能、施設」などについてアンケート調査を行いました。

アンケートで回答率の低かった世代(20～50代)には、「街なかの活性化には何が必要か!？」をテーマにグループワークを開催しました。特に「食文化」、「街並み」、「憩い・交流の場」に関する意見が数多く出てきました。

策定にあたっては、様々な立場の方の意見やアイデアを計画に取り込むため、地域住民や有識者などで構成する「検討委員会」とその下部組織に1・Uターン者や若者で構成する「分科会」を設置して議論を重ねました。

検討委員会や分科会の合間にも、下仁田高校でのワークショップや、街なかには暮らしている方々を個別訪問してヒアリングを実施し、様々な立場の方に策定に関わっていただきました。



基本計画より 検討委員会・分科会の進め方





「未来を描くワークショップin下仁田高校」の様子

群馬県官民連携まちづくりプロジェクトチームにも、進め方についてアドバイスをいただき、幅広い層からの意見を取り入れることができました。

このような過程を経て、第4回検討委員会をもって基本計画が完成しました。基本計画では、「街なかが目指すべき姿」として「街なか暮らし人、来る人、関わる人 みんなが“ワクワク”する気持ちを持って過ごせる空間を創出する」ことを定め、「つどう つながる つくりだす 街なか 世代を超えて一歩踏み出すあなたを応援するまち」という事業コンセプトを挙げました。この、「つどう」、「つながる」、「つくりだす」を基本方針として、それぞれに基づく取組みを

今後は進めていきます。

なお、分科会に参加した有志が中心となり、事業コンセプト「つどう つながる つくりだす」の頭文字をとったTTT(仮)という団体をつくり、町の活性化にも取り組んでいます。始動したばかりですが、令和4年度は町とタイアップして小学生向けの「むかしの正月あそび」などのイベントを行い、令和5年度からは月1回の道路清掃を実施しています。

また、策定までの取組みは逐次、街なか通信「かたりば」に取りまとめ、基本計画と併せて下仁田町ホームページで公開しています。



TTT(仮)のイベントの様子

■ 今後の取組みについて

令和5年度からは基本方針の「つどう」に係る取組みである「つどいの場の創出」と「街なか拠点整備」の具体的な内容について協議が始まっています。こちらも基本計画の策定と同様に、「整備推進委員会」と「専門部会」を設置して協議を進めています。

また、「つながる」、「つくりだす」に係る取組みについても、「育児支援金」や「移住促進奨励金」の新設など、一部制度が開始されています。

これからも町民、事業者、教育機関、行政などの地域に関わる人々で連携し、みんなが“ワクワク”する下仁田町に向けて取り組んでいきます。



基本計画より 街なかの新たな動き

街なか活性化事業の最新の進捗は右の二次元コードから確認することができます(下仁田町ホームページ)



(※)上毛新聞 2023年8月31日 下仁田ネギに孀恋キャベツ…全国に自慢したい群馬の野菜は？